

エリアメール・緊急速報メールを知っている人は6割

～外出先での喫緊に迫る災害を知る重要なサービス～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

- 調査結果 : ①エリアメール・緊急速報メールの認知度 (デバイス別)
②エリアメール・緊急速報メールでの受信内容

■ 調査結果

1- エリアメール・緊急速報メールを知っている人は6割。30代が最も高い

前レポートにおいて、緊急地震速報について、認知・受信後の行動について報告した。移動中に、緊急地震速報を受信し、「スマホ・ケータイ」が鳴ったことがあるのではないかと。

本レポートにおいて、スマホ・ケータイで緊急地震速報等を受信するサービス「エリアメール・緊急速報メール」に関する調査結果を伝える。

まず基礎的な調査結果であるが、スマホ・ケータイを所有している人を対象に「エリアメール」「緊急速報メール」を知っているか、尋ねた。その結果、全体の6割が知っていた。30代が最も認知度が高く、高齢層は低い結果である(図1)。

これは、「ICT利活用」と「防災意識」と関連している可能性がある。「ICT利活用」は若年層で高く、「防災意識」は高齢層が高い。その2つが関係し、30代が最も高くなった可能性がある。

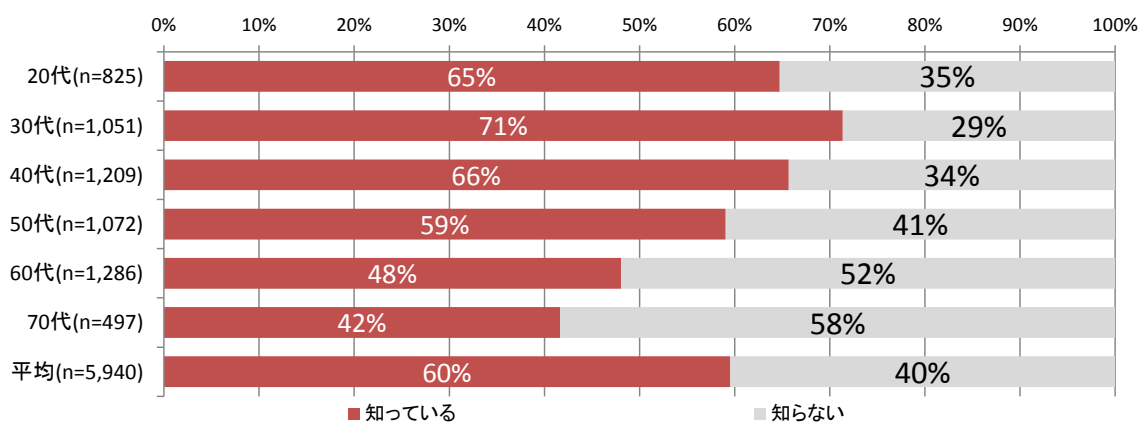


図1 エリアメール・緊急速報メールの認知度

また、フィーチャーフォン所有者では約半数、スマホ所有者では、約3人に2人が認知している。

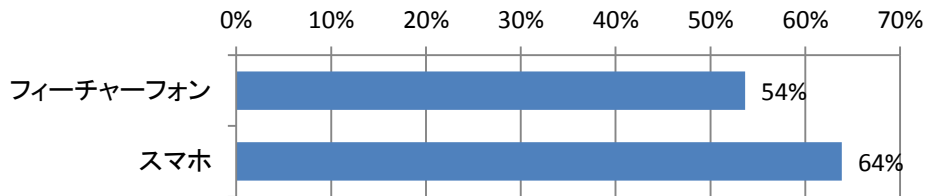


図2 エリアメール・緊急速報メールの認知度（デバイス別）

2—エリアメール・緊急速報メールを受信した内容「緊急地震速報」が8割

エリアメール・緊急速報メールを受信した経験がある人に、受信内容を聞いた。その結果、約8割の人が「緊急地震速報」の受信メールであった。次いで「特別警報」「災害・避難情報」と続いた。また、「訓練メール」も2割弱は受信経験があった。

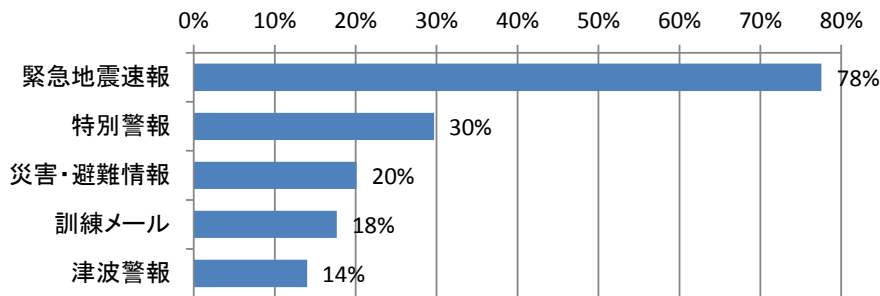


図3 エリアメール・緊急速報メールでの受信内容（MA）

3— エリアメール・緊急速報メールの認知度「東北太平洋側」「南九州」「沖縄」が高い

エリアメール・緊急速報メールの認知度をエリア別にみると、図4の通り「東北太平洋側」「南九州」「沖縄」で高い。

また「近畿北中部」では、訓練メールの受信が高い。これは平成24年から大阪府が実施している「大阪880万訓練」の結果が関連している可能性がある。

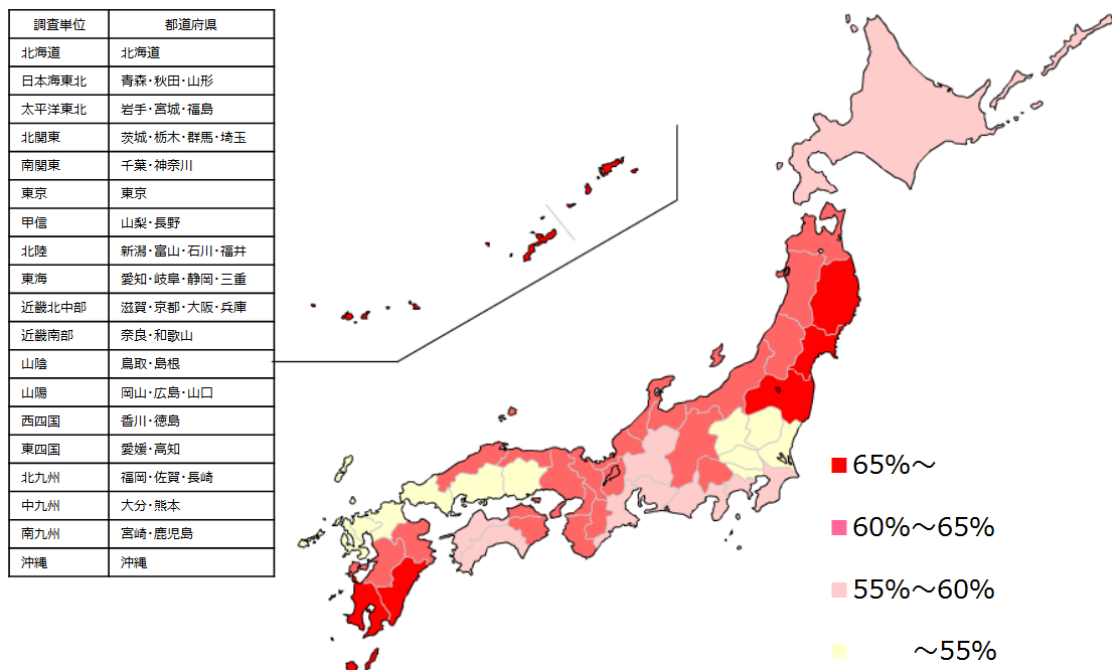


図4 エリア・緊急速報メール認知度（エリア別）

	北海道	日本海東北	太平洋東北	北関東	南関東	東京	甲信	北陸	東海	近畿北中部
緊急地震速報	74%	82%	86%	82%	84%	76%	79%	64%	72%	70%
特別警報	38%	26%	43%	21%	24%	22%	30%	20%	24%	23%
災害・避難情報	23%	19%	28%	12%	16%	12%	24%	20%	16%	20%
訓練メール	4%	17%	32%	8%	9%	16%	19%	26%	14%	34%
津波警報	13%	13%	33%	10%	14%	14%	7%	8%	8%	11%
	近畿南部	山陰	山陽	東四国	西四国	北九州	中九州	南九州	沖縄	全国
緊急地震速報	73%	72%	74%	82%	79%	79%	88%	84%	54%	77%
特別警報	24%	16%	34%	43%	28%	30%	25%	32%	52%	29%
災害・避難情報	13%	12%	20%	23%	19%	25%	24%	17%	34%	20%
訓練メール	23%	23%	6%	15%	16%	11%	8%	6%	37%	17%
津波警報	12%	7%	9%	14%	13%	12%	17%	17%	30%	14%

図5 エリア・緊急速報メールを受信した内容（エリア別）MA

※受信経験がある人が対象

通勤・通学あるいは、旅行中など自宅ではない場所で災害が発生した時、手元にある「エリアメール・緊急速報メール」は喫緊に迫る災害の情報を教えてくれる。改めて、当サービスの存在を知っていただき、メールを受信した際にどう行動するか、確認して欲しい。

【参考】Android スマートフォンではアプリを最新版に

Android スマートフォンでエリアメールを利用する場合、エリアメールアプリを最新版にバージョンアップを行う必要があります。Android スマートフォンを利用している人に、エリアメール・緊急速報メールアプリを最新にバージョンアップしているか、聞いたところ、「している」と答えた人は2割にとどまった。確実に利用するためにも、再度ご自身のスマートフォンで確かめていただきたい。

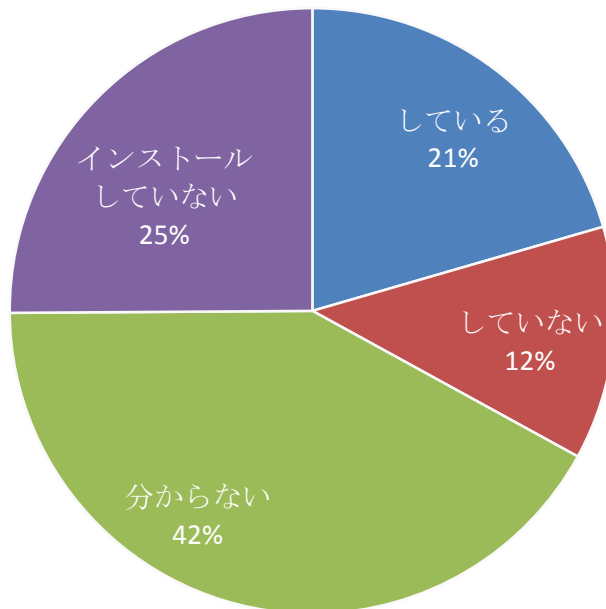


図6 エリアメールアプリを最新版にバージョンアップを行っているか
(スマートフォン (iPhone を除く) を利用している人が対象)

参考 : https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/areamail_app/index.html

■調査概要

調査時期 : 2017年3月 調査対象: 全国、20~79歳男女 標本抽出法 : QUOTA SAMPLING
性年代・居住地 (全国を19ブロックに区分) で割付6,225サンプル回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087